



明治大学校友会 千葉県西部支部

市川地域支部

第20回総会資料



2024年5月19日(日)

於：山崎製パン企業年金基金会館大ホール

明治大学校友会 千葉県西部支部

市川地域支部

第20回総会・創立20周年記念式典・懇親会 次第

第1部 総会		(11:00~12:00)	司会	高梨 政夫
1 開会のことば			司会	
2 物故者に対し黙祷			司会	
3 支部長挨拶			伊与久 美子	
4 ご来賓紹介			司会	
5 議長選出			伊与久 美子	
6 議事録署名人選出			阿部 千尋 武士田 卓志	
7 議事	第1号議案	2023年度 活動報告	高橋 一郎	
	第2号議案	2023年度 収支決算報告	鷹見 秀昭	
		2023年度 監査報告	大越 信夫	
	第3号議案	2024年度 活動計画(案)	高橋 一郎	
	第4号議案	2024年度 収支予算(案)	鷹見 秀昭	
	第5号議案	会則変更の件	高橋 一郎	
	第6号議案	支部役員変更の件	高梨 政夫	
8 新役員紹介			司会	
9 新旧支部長挨拶			伊与久 美子 鷹見 秀昭	
10 来賓代表挨拶		西部支部支部長	山中 勇 様	
11 閉会のことば			司会	
12 記念写真			明村 澄雄	
第2部 創立20周年記念式典		(12:00~12:15)	司会	高梨 政夫
1 開会のことば			司会	
2 功労者の紹介と花束贈呈			鷹見 秀昭	
3 功労者代表謝辞			行木 勝雄 様	
4 万歳三唱			阿部 千尋	
5 閉会のことば			司会	

(15分休憩)

第3部 懇親会

(12:30~14:30)

司会

伊与久 剛史

1 開会のことば

司会

2 挨拶

衆議院議員 前復興大臣

渡辺 博道 様

3 乾杯

山田 憲典

4 新入会員紹介

司会

5 県議会議員・市議会議員紹介

司会

6 歓談

7 アトラクション

チーム山室・ミニコンサート(13:10~13:40)

8 校歌斉唱

指揮

伊与久 剛史
鷹見 秀昭

9 閉会のことば

司会

2023年度 活動報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1. 大学本部関係

- | | | |
|------------------|----------------------|----------|
| ・ 2023年 7月29日(土) | 支部長・幹事長・地域支部長・本部員懇談会 | アカデミーホール |
| ・ 2023年 7月30日(日) | 代議員総会 | アカデミーホール |
| ・ 10月22日(日) | 第26回ホームカミングデー | 駿河台キャンパス |
| ・ 11月18日(土) | 支部長・幹事長・地域支部長・本部員懇談会 | ウインク愛知 |
| ・ 11月19日(日) | 第59回全国校友愛知大会 | ウインク愛知 |

2. 西部支部関係

- | | | |
|------------------|------------|-----------------|
| ・ 2023年 4月23日(日) | 千葉県西部支部役員会 | 紫紺館 |
| ・ 4月30日(日) | 我孫子地域支部総会 | けやきプラザ |
| ・ 5月20日(土) | 浦安地域支部総会 | 浦安ブライトンホテル |
| ・ 5月21日(日) | 柏地域支部総会 | ハート柏迎賓館 |
| ・ 5月28日(日) | 船橋地域支部総会 | 山崎製パン企業年金基金会館 |
| ・ 6月 3日(土) | 流山地域支部総会 | 徳樹庵 流山おおたかの森店 |
| ・ 6月18日(日) | 千葉県西部支部総会 | ハート柏迎賓館 |
| ・ 8月27日(日) | 千葉県西部支部役員会 | 浦安市美浜公民館 |
| ・ 11月12日(日) | 松戸地域支部総会 | 聖徳大学10号館 |
| ・ 2024年 1月28日(日) | 千葉県西部支部役員会 | 聖徳大学スカイラウンジローカス |

3. 市川地域支部関係

- | | | |
|------------------|--------------|---------------|
| ・ 2023年 4月 8日(土) | 第1回役員会 | 市川公民館 |
| ・ 5月14日(日) | 第19回支部総会 | 山崎製パン企業年金基金会館 |
| ・ 8月26日(土) | ボウリング大会&暑気払い | 本八幡スターレーン&上喜源 |
| ・ 10月21日(土) | 第2回役員会 | 全日警ホール |
| ・ 12月 9日(土) | 第3回役員会・役員忘年会 | 山崎製パン企業年金基金会館 |
| ・ 2024年 2月 4日(日) | 第4回役員会・新年会 | うえだ別館 |

4. 同好会関係

- | | | | |
|------------|--------|---------------------|----|
| ・ ゴルフ同好会 | 年4回の開催 | 4/14、7/14、10/6、1/26 | |
| ・ カラオケ同好会 | 年4回の開催 | 6/3、9/10、12/17、3/24 | |
| ・ ハイキング同好会 | ラグビー観戦 | | 中止 |
- ※詳細につきましては広報「まつかぜ」をご覧ください。

5. 地域貢献活動関係

- | | | |
|-----------------|----------------|--------|
| ・ 2023年11月3日(祝) | 第48回市川市民まつりに参加 | 大洲防災公園 |
|-----------------|----------------|--------|
- 明大スポーツ新聞の配布や明大グッズ販売等により母校のPRに努めた。

2023年度収支決算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	差額	備考
I 地域支部会費収入	910,000	808,000	-102,000	
1.年会費	420,000	402,000	-18,000	3000*134人
2.総会会費	490,000	406,000	-84,000	7000*58人
II 事業収入	600,000	419,600	-180,400	新年会会費、明大グッズ販売上等
III 寄付金収入	70,000	103,000	33,000	他支部お祝い金
IV 受取利息	4	1	-3	
V 雑収入	500	0	-500	
収入合計	1,580,504	1,330,601	-249,903	
繰越金	510,481	510,481	0	
合計	2,090,985	1,841,082	-249,903	

【支出の部】

科目	予算	決算	差額	備考
I 事業費	670,000	672,250	2,250	
1.地域支部交流費	70,000	70,000	0	他支部お祝い金
2.その他事業費	600,000	602,250	2,250	新年会、同好会補助
II 広報費	144,000	108,810	-35,190	
1.地域支部会報発行費	120,000	84,810	-35,190	総会資料、まつかぜ発行費等
2.広報関係費	24,000	24,000	0	ホームページ維持費等
III 運営費	763,000	662,834	-100,166	
1.会議費	573,000	558,272	-14,728	
(1)支部総会費	550,000	556,682	6,682	会場費 アトラクション費用
(2)役員会費	10,000	1,590	-8,410	
(3)委員会費	10,000	0	-10,000	
(4)業務費	3,000	0	-3,000	会議開催に伴う連絡通信費等
2.事務費	180,000	104,562	-75,438	資料郵送代等
3.慶弔費	10,000	0	-10,000	
IV 予備費	20,000	0	-20,000	
支出合計	1,597,000	1,443,894	-153,106	
次年度繰越額	493,985	397,188	-96,797	
合計	2,090,985	1,841,082	-249,903	

監査報告書


明治大学校友会市川地域支部会則第19条1項の定めに従い、2023年度の収支計算書につき、現金出納帳、証憑書類その他これらに関連する帳簿等を監査しました。


また、会務の執行については役員会に出席して状況を把握するとともに、事業報告については担当役員から説明を求め、監査を実施しました。

監査の結果、収支計算書は2023年度における収支の状況を適正に表示しており、会務は会則に準拠し適切妥当に執行されたものであることを認めます。

2024年 〆 月 〆 日

明治大学校友会市川地域支部

監査委員 尺越 信夫 

監査委員 阿部 晃 

2024年度 活動計画(案)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 第20回市川地域支部総会・20周年記念式典・懇親会の開催 (山崎製パン企業年金基金会館)
 - ・ 2024年5月19日(日) 11:00～
2. 役員会の開催
 - ・ 定例会は3ヶ月に1回、年4回開催予定(必要時には別途開催)
3. 会員の親睦、交流の推進
 - ・ 市川地域支部会報「まつかぜ」の発行
 - ・ 会員相互の交流の場として、趣味・スポーツ等のサークル活動の充実と支部からの補助
 - ・ ゴルフ同好会 年4回のコンペ開催
 - ・ カラオケ同好会 年4回の例会開催
 - ・ ボウリング大会&暑気払い 8月に予定
 - ・ ハイキング同好会 ラクビー観戦等を検討
 - ・ 新年会の開催 2025年2月2日(日)予定
 - ・ マンドリン演奏会の開催 2025年2月23日(日)予定
4. 重点事業 **活動**
 - ・ 会員増強活動 : 各会員があらゆる情報を駆使して、地域の校友を支部の仲間として迎え入れる努力をしていきましょう。
 - ・ 第60回全国校友香川大会への参加(9月29日)
5. 大学関係への協力
 - ・ 大学協力資金等の募金活動への協力
 - ・ 大学賛助となるための必要活動への協力
 - ・ 明大ホームカミングデー(10月27日)への参加協力
 - ・ 千葉県西部支部各地域支部および東部支部の行事への積極的な参加
6. 市川市、地元への協力
 - ・ 市民まつり参加予定(11月3日)
 - ・ 地域貢献ボランティア活動(防犯パトロール等)

第4号議案

2024年度収支予算(案)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

【収入の部】

科 目	予 算	備 考
I 地域支部会費収入	910,000	
1.年会費	420,000	3千円*140人
2.総会会費	490,000	7千円*70人
II 事業収入	600,000	新年会会費、明大グッズ販売売上等
III 寄付金収入	70,000	他支部祝い金等
IV 受取利息	4	
V 雑収入	500	
収入合計	1,580,504	
繰越金	397,188	
合計	1,977,692	

【支出の部】

科 目	予 算	備 考
I 事業費	870,000	
1.地域支部交流費	70,000	他支部総会祝い金等
2.その他事業費	800,000	新年会(7千円*70人)、20周年記念費
II 広報費	144,000	
1.地域支部会報発行費	120,000	総会資料、まつかぜ発行費等
2.広報関係費	24,000	ホームページ維持費等
III 運営費	783,000	
1.会議費	593,000	
(1)支部総会費	550,000	7千円*70人 アトラクション
(2)役員会費	30,000	オンライン会議費用
(3)委員会費	10,000	
(4)業務費	3,000	会議開催に伴う連絡通信費等
2.事務費	180,000	新体制印刷物、資料郵送代等
3.慶弔費	10,000	
IV 予備費	50,000	
支出合計	1,847,000	
次年度繰越額	130,692	
合計	1,977,692	

2024年度(案)女子支庫費ASOS
 (2024年4月1日~2025年3月31日)

市川地域支部会則の一部改正について

1. 主な改正理由	000,010	人財資金積支組計I
校友会会則に定める「事業」という文言を「活動」に変更し、営利を目的としない任意団体の校友活動について、より伝わりやすく、馴染みやすくしていくため。	000,000	費会平I
2. 主な改正内容	000,000	費会全消I
市川地域支部会則第3条、第5条、第14条、第16条、第19条に記載の「事業」の文言を「活動」に変更する。	000,000	費会全消I

3. 施行期日	2025年2月22日	目 録
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業専I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I
校友会会長の了承を得た上で、その翌日から施行する。	000,000	費業交積支組計I

明治大学校友会市川地域支部会則の一部改正新旧対象表(案)

新	旧
<p>第3条 本会は、明治大学校友会本部(以下「本部」という。)の実施する活動並びに上位支部活動に積極的に参加すると共に、会員相互の親睦・交流を図り、併せて地域社会に貢献することを目的とする。</p> <p>(活動)</p> <p>第5条 本会は、第3条に定める目的を達成するため、次の活動を行う。 (1) 上位支部との連携による大学賛助のために必要な活動 (2) 本会振興のために必要な活動 (3)～(4)略 (5) その他本会の目的達成のために必要な活動</p> <p>(役員会)</p> <p>第14条 役員会は、総会への付議事項並びに本会の活動、業務及び運営に関する事項を審議・決定する。</p> <p>第5章 活動年度・会計等 (活動年度)</p> <p>第16条 本会の活動年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。</p> <p>(活動計画・報告及び予算)</p> <p>第19条 本则会則第35条第2項乃至第4項の規定を本会に準用する。この場合「会長」を「上位支部の支部長」に読み替える。</p> <p>附 則 2 校友会長の承認を得た上で、その翌日より施行する。</p>	<p>第3条 本会は、明治大学校友会本部(以下「本部」という。)の実施する事業並びに上位支部活動に積極的に参加すると共に、会員相互の親睦・交流を図り、併せて地域社会に貢献することを目的とする。</p> <p>(事業)</p> <p>本会は、第3条に定める目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 上位支部との連携による大学賛助のために必要な事業 (2) 本会振興のために必要な事業 (3) 地域社会に対するPRと貢献 (5) その他本会の目的達成のために必要な事業</p> <p>(役員会)</p> <p>第14条 役員会は、総会への付議事項並びに本会の事業、業務及び運営に関する事項を審議・決定する。</p> <p>第5章 事業年度・会計等 (事業年度)</p> <p>第16条 本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。</p> <p>(事業計画・報告及び予算)</p> <p>第19条 本则会則第35条第2項乃至第4項の規定を本会に準用する。この場合「会長」を「上位支部の支部長」に読み替える。</p>

支部役員(案)

	役職	氏名	卒年	学部
特別 役員	顧問	山田 憲典	S35	法
	顧問	行木 勝雄	S35	法
	名誉支部長	伊与久 美子	S42	文
	相談役	伊神 玲子	S27	商
	相談役	高梨 政夫	S40	商
	相談役	伊与久 剛史	S42	文
	相談役	中原 忠良	S46	経営
	相談役	高橋 一郎	S52	工
支 部 役 員	支部長	鷹見 秀昭	S56	政経
	支部長代行	阿部 千尋	S56	法
	副支部長	明村 澄雄	S47	政経
	副支部長	笈川 英明	S52	経営
	副支部長	時田 徹	S56	工
	副支部長	武士田 卓志	S62	法
	副支部長	木川 正博	S63	政経
	幹事長	金子 明	H8	商
	副幹事長	富川 雅晴	H4	商
	副幹事長	山室 繁央	H7	政経
	幹事	笈川 智子	S52	経営
	幹事	市原 裕彦	S58	商
	幹事	鈴木 則子	S58	文
	幹事	加藤 洋一	S61	政経
	幹事	榎井 信吾	S62	法
	幹事	金子 忠幸	H3	商
	幹事	吉岡 聡子	H7	政経
	幹事	上田 栄一郎	H8	農
	幹事	松丸 陽輔	H9	文
	幹事	石川 隆英	H20	法
会計幹事	湯島 文彦	S60	経営	
会計幹事	小川 敦	S62	政経	
監査委員	大越 信夫	S45	政経	
監査委員	湯浅 起市郎	S49	工	

明治大学校友会 市川地域支部会員名簿

- ・個人情報保護の為、地番と電話番号を記載していません。
- ・地番と電話番号を知りたい方は支部長又は幹事長までお問合せ下さい。

No.	氏名	卒年	学部
1	伊神 玲子	S27	商
2	佐藤 要太郎	S29	商
3	瀧澤 幹男	S31	経営
4	萩原 守夫	S31	商
5	小川 正明	S32	工
6	千葉 昭司	S32	政経
7	鶴岡 正雄	S32	商
8	石橋 正光	S33	商
9	砂山 保郎	S33	商
10	田中 薫	S33	法
11	千葉 良二	S33	商
12	阿部 晃	S34	経営
13	鈴木 宣男	S34	政経
14	宇賀山 昇	S35	商
15	鈴木 保俊	S35	商
16	行木 勝雄	S35	法
17	宮崎 宏	S35	商
18	山田 憲典	S35	法
19	田中 一彦	S36	商
20	山崎 敬生	S36	商
21	芹川 恵一	S37	商
22	星野 隆	S37	政経
23	小田 隆造	S38	商
24	鳥飼 好男	S38	商
25	石毛 裕耕	S39	文
26	井内 幸雄	S39	政経
27	川島 重雄	S39	政経
28	神田 久	S39	商
29	石川 守也	S40	法
30	鈴木 吉則	S40	法
31	関 勝治	S40	政経
32	高梨 政夫	S40	商
33	大西 勇	S41	政経
34	齋藤 信義	S41	工

No.	氏名	卒年	学部
35	須賀 明	S41	政経
36	米山 功	S41	法
37	飯塚 哲夫	S42	経営
38	井上 喜久男	S42	経営
39	伊与久 剛史	S42	文
40	伊与久 美子	S42	文
41	河野 忠晴	S42	農
42	小林 操	S42	文
43	佐藤 国雄	S42	工
44	富田 繁太郎	S42	商
45	橋詰 一彦	S42	政経
46	堀 静雄	S42	経営
47	茂呂 三男	S42	法
48	内田 正彦	S43	文
49	橋本 剛	S44	政経
50	渡邊 勉	S44	法
51	大越 信夫	S45	政経
52	大原 登志	S45	商
53	登坂 一朗	S45	政経
54	吉田 育生	S45	法
55	宇田川 純一	S46	農
56	桑原 信	S46	政経
57	中原 忠良	S46	経営
58	本間 雄司	S46	工
59	吉野 伸一	S46	商
60	明村 澄雄	S47	政経
61	大場 洋一	S48	農
62	坂巻 幸夫	S48	法
63	里村 清隆	S48	商
64	戸田 正人	S48	工
65	土橋 敏雄	S48	経営
66	湯浅 起市郎	S49	工
67	小島 昭彦	S50	商
68	戸邊 寛	S50	法
69	柳田 好明	S50	政経
70	入江 誠一	S51	経営
71	渡辺 博道	S51	大学院

No.	氏名	卒年	学部
72	笈川 智子	S52	経営
73	笈川 英明	S52	経営
74	笠原 智	S52	農
75	小林 裕司	S52	商
76	高橋 一郎	S52	工
77	二見 昭	S52	経営
78	吉田 健	S53	経営
79	伊藤 祐介	S55	法
80	滝口 利子	S55	商
81	野口 克子	S55	法
82	阿部 千尋	S56	法
83	池本 克己	S56	政経
84	今野 義昭	S56	商
85	鷹見 秀昭	S56	政経
86	時田 徹	S56	工
87	轟 正昭	S56	法
88	中田 聡子	S56	政経
89	吉野 芳明	S56	法
90	長森 稔明	S57	法
91	市原 裕彦	S58	商
92	鈴木 則子	S58	文
93	市川 真純	S59	経営
94	川村 日出樹	S59	政経
95	菊池 武	S59	政経
96	川島 康男	S60	商
97	湯島 文彦	S60	政経
98	加藤 洋一	S61	政経
99	河合 憲二	S61	商
100	本住 敏	S61	法
101	安藤 彰彦	S62	商
102	小川 敦	S62	政経
103	武士田 卓志	S62	法
104	榊井 信吾	S62	法
105	新井 宏幸	S63	経営
106	木川 正博	S63	政経
107	清水 裕子	S63	文
108	杉沢 秀一	H1	工

新

No.	氏名	卒年	学部
109	大陽 照弘	H1	政経
110	細田 伸一	H1	法
111	神田 琴絵	H2	工
112	金子 忠幸	H3	商
113	富川 雅晴	H4	商
114	山室 繁央	H7	政経
115	吉岡 聡子	H7	政経
116	上田 栄一郎	H8	農
117	金子 明	H8	商
118	松丸 陽輔	H9	文
119	小山田 直人	H10	理工
120	松永 鉄平	H10	商
121	今井 智茂	H11	商
122	大坪 恭也	H11	商
123	高橋 大輔	H11	法
124	武田 隆志	H12	政経
125	羽染 和仁	H12	法
126	高橋 亮平	H13	理工
127	通川 結実	H14	短法
128	城和 宗一郎	H17	商
129	石川 隆英	H20	法
130	田中 幸太郎	H22	大学院
131	土屋 正順	H27	法
132	土屋 彩希	H27	情報
133	官 暁海	H29	文
134	守屋 海沙	H28入学 大院現役	理工
135	阿部 裕貴	R4	文
136	宮本 珠妃	R4	法

心を熱き!! 謳え

明治大学校歌・應援歌集

明治大学應援團

明治大学校歌

児玉花外 作詩
山田耕作 作曲

一 白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ我等が母校
明治その名ぞ我等が母校

二 権利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健児の意気をは知るや
我等が健児の意気をは知るや

三 霊峰不二を仰ぎつつ

我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ち鳴らさむ
正義の鐘を打ち鳴らさむ

明治大学校歌

「白雲なびく駿河台……」の名文句、名調子による我が明治大学の校歌は、日本三大校歌の、一つに数えられ、全国津々浦々に知れ渡っている。又、校歌物語を引用すると……

一九二十年の春、当時まだ学生であった武田猛氏（元明治大学総長）と級友 牛尾哲造氏とが中心となつて、校歌を作成することになった。そして作詞を詩人 児玉花外先生に、作曲は当時楽壇のホープとして注目されていた、山田耕作先生に依頼することとなり、この年の秋、隅田川の大学対抗ボートレースで初めて全学生の校歌として発表された。等、等、そのエピソードは波乱に満ち、維新以来先哲のあるいた幾多の伝統の重みが格調高く伝わってくる。神宮球場で勝利の瞬間に聞く校歌は、明大生である喜びを誇るかの如く力強く鳴り響くのである。



発行：明治大学校友会 千葉県西部支部 市川地域支部